

おぢや

市議会だより

NO. 54

21. 10. 25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



小千谷小学校

長い伝統をもつ小千谷小学校校舎（講堂72年・校舎49年）が改築により姿を消すことになりましたが、「振徳館」は新しい姿で新校舎に引き継がれます。

小千谷市土川1-5-1

小千谷小学校のルーツである「振徳館」を再現した教室で学ぶ児童

- 第3回定例会議決結果…………… P 2
- 常任委員会報告…………… P 2～4
- 一般質問…………… P 4～7
- 議会日誌…………… P 7～8
- 雪あかり、編集後記…………… P 8

— 主な掲載内容 —

平成二十一年小千谷市議会
**第三回 定例会
議決結果**

条例の制定・改正

- 小千谷市定住自立圏の形成に係る議会の議決に関する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市褒賞条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市保育所条例の一部を改正する条例の制定 (起立多数)
- 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第四号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市老人保健特別会計補正予算(第一号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第一号) (全会一致)

予算の補正

決算の認定

- 平成二十一年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 平成二十年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 平成二十年度小千谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 平成二十年度小千谷市下水道特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)
- 平成二十年度小千谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット中継でもご覧いただけます。

URL

<http://www.city.ojiya.niigata.jp>

決算認定

- 平成二十年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 平成二十年度小千谷市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)
- 平成二十年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 平成二十年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)
- 平成二十年度小千谷市ガス事業会計決算認定(全会一致)
- 平成二十年度小千谷市水道事業

その他

- 財産(教育用コンピュータ機器)の取得 (全会一致)
- 小千谷市道路線の廃止 (全会一致)
- 小千谷市道路線の認定 (全会一致)
- 小千谷市教育委員会委員の任命 (起立多数)
- 平成二十年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定 (全会一致)
- 業会計決算認定(全会一致)

三常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 久保田 久栄

本委員会に付託されました議案は四件でありました。審査は九月二日、三日及び四日の三日間にわたり開催し、平成二十一年度一般会計補正予算(第四号)及び平成二十年度一般会計歳入歳出決算認定については、社会土木委員会及び産業経済委員会との三常任委員会の連合審査会といたしました。委員会では各

議案とも慎重に審査し、四件とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第六十三号、小千谷市定住自立圏の形成に係る議会の議決に関する条例の制定について
地方自治法第九十六条二項の規定に基づき、議会の議決すべき事項を定めるとするものであります。定住自立圏構想に対する国の支援の状況について、協定締結のための機関の設置について、市町村合併との関連について、質疑がありました。

○議案第六十四号、小千谷市褒賞条例の一部を改正する条例の制定について
褒賞の対象者から市職員を除くとするものであります。

○議案第六十七号、平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第四号)について
歳入歳出それぞれ三千八百五十二万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百七十六億八千七百五十六万八千円としたいとするものであります。

○議案第七十号、平成二十年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、前年度比三・〇%増加の百七十五億七千九百五十三万一千円、歳出決算額は

前年度比三・九%増加の百七十一億一千七百三十五万五千円で、実質収支額は三億五千三百五十三万三千円の赤字となっておりますが、繰り越された前年度実質収支を差し引いた単年度収支は二億一千四百十三万二千円の赤字であり、財政調整積立金等を加味した実質単年度収支は四億一千三百七十七万七千円の赤字となっております。なお、経常収支比率は前年度比〇・三ポイント上昇して九十二・二%に、起債制限比率は前年度比一・〇ポイント減少し、九・六%となっております。

社会土木委員会

委員長 本田 剛

本委員会に付託されました議案十件を慎重に審査し原案とおり全員異議なく五件を可決、五件を認定すべきものと決しました。

○議案第六十五号 小千谷市保育所条例の一部を改正する条例の制定について

平成二十二年四月に認定ことも園が開設されることに伴い、私立の認可保育所が設置されることから条例の名称、保育料の徴収方法、東保育園さくら分園

とするための条例改正するといふものであります。

○議案第六十八号 平成二十一年度小千谷市老人保健特別会計補正予算第一号について

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ一億三千二百七十七万七千円を追加、予算の総額を歳入歳出それぞれ一億四千五百八十七万二千円とするものであります。

○議案第六十九号 平成二十一年度小千谷市介護保険特別会計補正予算第一号について

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ四千三百七十八万八千円を追加、予算の総額を歳入歳出それぞれ三十三億七千六十四万四千円とするものであります。

○議案第七十一号 平成二十一年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は三十六億九千九百八十八万三千円で、前年度対比六千七百七十万円の増、歳出決算額は三十六億二千九百六十六万円で歳入歳出差引歳入不足額一千九百六十七万六千円を翌年度の歳入繰上充用金で補てんしたというものであります。

○議案第七十二号 平成二十一年度小千谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は五億一千二百十

二万二千円で前年度対比三十五億八千九百四十七万六千円の減、歳出決算額は三億七千九百四十一万四千円で前年度対比三十七億六千万円の減、歳入歳出差引残額一億三千二百七十七万七千円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第七十五号 平成二十一年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は三十億九千九百九十九万七千円で前年度対比一億三千九百九十六万七千円の増、歳出決算額は三十億八千六百四十万五千円で前年度対比二億一千五百八十九万九千円の増、歳入歳出差引残額三百七十三万二千円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第七十六号 平成二十一年度小千谷市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は一千三百八十五万六千円で、歳出決算額は歳入決算額と同額であります。

○議案第七十七号 平成二十一年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は六億六千四百五十二万五千円で歳出決算額は六億六千二百三十一万一千円で歳入歳出差引残額二百三十九万四千

円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第八十三号 小千谷市道路線の廃止について

新たに市道認定する道路と重複する市道を廃止したいというものであります。

○議案第八十四号 小千谷市道路線の認定について

都市計画道路として建造中の道路及び、民間小規模宅地開発に伴い築造された団地内道路が市道認定基準に合致したことから市道に認定したいとするものであります。

産業経済委員会

委員長 中山 俊雄

本委員会に付託されました議案七件を慎重に審査をし、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第六十六号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について

使用者の利便性の向上や収納効率の向上を図るため、ガス料金等においてコンビ二取納を開始することに伴い、遅収料金の徴収方法を改めるといふものであります。

○議案第七十三号 平成二十一年度小千谷市下水道特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は二十四億九千二百六十三万三千円、歳出決算額は二十四億四千三百八十一万九千九百

円、歳入歳出差引残額四千八百二十四万四千円を翌年度に繰り越すというものであります。

○議案第七十四号 平成二十一年度小千谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は六億一千七百七十四万三千円、歳出決算額は六億二万二千円で、歳入歳出差引残額一千七百七十二万九千九百九十九円を翌年度に繰り越すというものであります。

○議案第七十八号 平成二十一年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は一億八千七百九十九万円で、歳出決算額は一億八千二百二十一万九千九百九十九円

なお、継続費を設定しました工事請負費及び委託料のうち、三千九百二十三万円を、継続費通次繰越として翌年度に繰り越すというものであります。

○議案第七十九号 平成二十一年度小千谷市ガス事業会計決算認定について

収益的収支においては、収入

合計は十三億八千五百五十七万八千七百四十四円、支出合計は十一億一千五百五十九万九千六百七十七円となり、差し引き二億六千九百九十九万八千九百七十七円の当年度純利益となりました。

○議案第八十号 平成二十年度小千谷市水道事業会計決算認定について

収益的収支においては、収入合計七億八千二百二十二万一千二百五十四円、支出合計は六億八千三十六万二千四百九十七円

となり、差し引き一億百八十五万八千七百五十七円の当年度純利益となりました。

○議案第八十一号 平成二十年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定について

収益的収支においては、収入合計三億五百三十一万七千八百四十九円、支出合計は二億三千六百七十六万九千二百九十九円となり、差し引き六千八百五十五万七千七百二十円の当年度純利益となりました。

市政の内容を聞く 一般質問

男女共同参画社会と
所得税法第五十六条
について

風間 健一 議員

男女共同参画社会基本法は「男女が均等に政治的、社会的及び

文化的利益を享受する事ができ、且つ、共に責任を担うべき社会」の形成を推進することを目的とし、「男女の個人としての尊厳が重んじられること」など「男女の人権が尊重」される社会であることを明記しています。小千谷市でも「男女共同参画プラン」を策定しています。そこで、家族経営で働くお母さんなどの女性家族従業者に関し質問します。女性家族従業者にとっての大きな問題は、自分の働きがきちんと認められないということであり、問題の根源には「生活を一つにする配偶者とその家族が事業に従事したさい、対価の支払いは必要経費に算入しない」

という所得税法第五十六条があります。このため家族が従業している場合はどんなに働いても給料は税法上必要経費として計上されず、事業主の所得として課税されます。事業主の所得からは、配偶者八十六万円、家族五十万円が控除されるだけで稼ごに見合った給料がもらえません。

質問 男女共同参画基本法の精神に則り女性家族従業者などいわゆる業者婦人の、労働と健康の実態調査をおこなって頂きたい。

答弁 現在のところ直ちにこの調査を行う考えはありません。

質問 所得税法第五十六条を廃止するように国に要請して頂きたい。

答弁 第五十六条は公平な税負担を求めるためには合理的な規定と考えており、廃止を求める考えはありません。

結婚サポートと
小・中学生の
健康管理について

西沢 代三 議員

質問 本年度の市の重点施策のトップは「子育て支援」が掲げられている。さらに七月には、

市社会教育課主管する「ときめきめぐりあいサポートセンター」を新設し、お世話志隊の構成員二十二名を任命するなど結婚支援（相談等）に取り組んでいる。有名無実ならぬよう積極的な支援が必要である。

また、信頼関係を増長するためにも個人情報守秘が重視されている。その対応はどうか。

答弁 お世話志隊の構成は町内事業所、団体からの推薦で随時増員を図り、成果を期待しております。交通費等の実費負担は当然ですが、任務の内容からボランティアがふさわしいと思っております。個人情報の保護面では電話による「完全予約制」にするなど努力しております。

質問 厚労省は早くも新型インフルエンザの本格的流行を宣言している。市内小・中学校過去三カ年のインフルエンザ発生調



査結果によると、欠席者▽十八年度▽百三十九人（中学四〇人）▽十九年度▽百二十三人（同三人）▽二十年度▽一千三百七十五人（同二七三人）である。

特に、平成二十年度は学級閉鎖三十五、学年閉鎖二十に達するなど危険状態であったので、本年度同予防に対する父兄間の関心が高まっている。

答弁 昨年度の経験を生かし児童生徒の健康観察、手洗い、うがい、教室の換気の徹底に努めております。新型インフルエンザでは、重症化するリスクが高いことから、早期受診、早期治療を受けるように指導しております。

勤務医確保について

吉崎 進 議員

質問 私が医師不足について一般質問を行うのはこれで三回目である。小千谷市においては、医師会の協力と行政の努力により、日曜日の診療体制が改善されたことは、喜ばしいことである。市民も大いに心強く感じていることであろう。しかし、依然として勤務医不足が改善される様子は私には見えない。

今年の六月十四日、新潟日報に新潟大学医学部長の話として、今年度から医学部の定員を百二十名に増やしたが、活躍するまで十年以上かかる。すぐに増やせる対策はない。また、他県の大学から医師の派遣が多くないことも医師不足の原因だと報じられていた。

小千谷には、新潟大学医師部以外の医師部を卒業した医師もおられる。特に、東京近辺には私立の医学部を持つ大学も多々ある。市長として自ら他県の大学医学部に要請するつもりはあるか。

答弁 市内病院で、医師確保について常に努力していることは理解しているし、敬意を表している。また、現在、小千谷総合病院と魚沼病院の統合に向け協議が進められており、当市は病院総合協議会の一員として実現に向けて努力しているところである。

大学への医師派遣については、勤務環境、勤務条件、医療技術に関する知識などに精通していなければならないので、市独自の要請活動はできないが、病院が要請活動をするに際し、市に対して協力依頼があれば喜んで応じるつもりであり、病院や

医師会にもその旨伝えていく。



小千谷の春祭り・消雪パイプについて

岩瀬 清 議員

質問 小千谷の春祭りについて、春は万物が躍動するときであり、昔から「やまん祭り（船岡公園祭り）」は大層な賑わいを見せたが近年ここでの祭りが無く寂しく、多くの市民はここでの祭りを望んでいるが。

答弁 船岡公園が中越大震災で甚大な被害を受け、ここでの祭りが出来なくなったため、平成十七年度から会場を千谷工業団地に移しおぢや桜まつりとして開催しています。また、平成十九年度からは船岡公園の桜開花時期に合わせてボンボリの点灯をしています。船岡公園は駐車場が絶対的に不足しており、また、シャトルバスの運行も道路事情から無理であり、さらに、交通の混雑や違法駐車等で周辺住民にも迷惑をかける心配もありここでの大掛かりなイベント等の開催は適切でないと考えています。むしろ、船岡公園は市民が憩い散策する場所として年間を通じて足を運んでいたきたいと考えています。今後の春祭りのあり方については、小千谷観光協会で市民を始め関係各位のご意見を賜りながら検討をお願いいたします。



したいと思います。

質問 消雪パイプの修繕対応について、古いパイプは目詰まり箇所等が多くあり、抜本的な修繕対応が求められるが。

答弁 本年四月に国で地域活力基盤創造交付金という新しい制度が創設されたので、平成二十二年から二十六年までの五年間の事業費を要望しました。認められた場合には、一・二級の重要路線を中心に来年度から抜本的な修繕を行いたいと考えています。また、その他路線についても要望したいと考えています。

新型インフルエンザの取り組みなど七項目

安達 稔 議員

質問 「新型インフルエンザ」感染予防にどのように取り組むのか。①市内の感染状況は。医療機関との情報共有体制はどのようなか。②「ハイリスク」を伴う人への対応は。③介護、福祉施設など感染拡大時の対応は。④学校、保育現場の取り組み。⑤市民、地域、事業所などへの啓発は。⑥「発熱外来」の設置はどのようなか。⑦パンデミック時の医療体制は十分か。⑧ワクチン接種の助成は考えているか。

答弁 ①八月に四名九月に四名。県感染症情報より提供される体制。②国・県の方針に沿う。③

訪問介護などの代替サービスを考えている。④学校医の指導を受け判断。保育園は保護者に登園を自粛する旨のお願いをする。⑤・⑥・⑦は県の指導を受け指針に従う。⑧今後の動向を見ながら対応。

質問 「薬物乱用について」①防止対策の取り組みは。②学校等の防止教育はどのようなか。

答弁 ①啓発を進める。②警察官や薬剤師を招いて講話を実施する。

質問 「雇用・景気対策について」①当市の失業率は。②今後の予測は。③個人のセーフティネットの構築は。④生活資金に苦しむ人への対応は。⑤雇用の拡大はどのように。

答弁 ①つかんでない。②かなり厳しい。③就職安定資金など講じていく。④生活保護制度など運用。⑤国の交付金事業を行なう。

質問 「農業問題について」日米FTA自由貿易協定の締結阻止を働きかけるべき。

答弁 政権交代後の農政に注視していく。

質問 「発光ダイオード（LED）」について改正省エネ法が施行になる。当市も取り組みを。
答弁 導入を検討したい。

質問 「未来への投資」今後の次世代産業の創設や育成はどのように図る。

答弁 容易に答えが出せない。

質問 「スクール・ニューディールについて」進捗状況は。

答弁 太陽光パネル以外は事業に着手した。

中小企業緊急経済対策と新型インフルエンザ対応を問う

田中 淳 議員

質問 中小企業緊急経済対策

① 昨年この制度融資が事業化して以来の申込み件数と融資金額

② 長期化する不況経済情勢により中小企業者からの融資返済に関する相談等、市としての対応

③ 返済条件の緩和等融資制度の柔軟な対応が必要と思うが

答弁 ① 現在まで二九三件、融資額ベースで三十五億七千六百九十万円となっております。

② 融資返済に関する相談等は、市の窓口等では直接受けておりません。

③ 今年四月に緊急保障制度が改正され、返済期間が一年以内から二年以内と延長されました



ので、元金返済が始まる前であれば必要な手続きをとることで延長は可能です。今後は市や商工会議所で実施を予定している企業アンケート等により調査し、必要な対応をしていきたい。

質問 新型インフルエンザ対策

① 発熱相談センター等の医療機関を独自に設けることの検討は。

② 市内病院との連携や今後の広がりにより「休日緊急診療支援事業」の拡大も必要と思うが。

③ 学校等の集団で複数の患者に対応するマニュアルや指針といったものの取り扱いは。

答弁 ① 国や県の方針に従い今後判断してまいりたい。

② 感染者や患者が多数、病院・診療所に訪れた場合「休日救急診療支援事業」に医師を派遣できないことも予想されます。その場合医療機関・医師会と協議を行ってまいりたい。

③ 「学校欠席者サーベランス

システム」の運用により、県、学校教育課、学校医等に情報が即時に入り、より迅速な対応が可能となるものと思われれます。

震災ミュージアム、元町リバービュー21等について

宮崎 悦男 議員

質問 震災ミュージアム構想は

本年三月、復興基金での新規ハード事業が認められず、既存施設の活用へ方向転換せざるを得なくなった。市としてのビジョンを掲げ、スピード感をもって県や機構に提言する必要があると考える。① 本年三月以降の経緯は。

② 震災五周年までに基本構想を



打ち出す必要があるのでは。③ 早急に作業部会や検討会を行う必要があると思うが。④ ミュージアム概要、候補地、運営形態、財源について、考えは。

答弁 ① 四月二十一日に県の副

部長等が来市、仮称小千谷震災ミュージアムを含む中越大震災メモリアル拠点整備の計画案が作成されたので、今後この計画をたたき台として協議したい、と話があった。これに基づき県と三市町の担当者間で協議しているところ②まだ公表段階に至っていない。③ 必要があれば市民代表、学識経験者などで構成する作業部会を組織したい。④ 候補地は機構から集集館の利用について提案があり、現時点での候補である。財源は復興基金を

ベースに県と協議、適当な国の補助制度があればそれらも考えたい。

質問 元町リバービュー21について早急に解決策を。① 市民の安全と責任について。

② 交渉の経過について。

③ 復興基金等で早期解決を。④ 解体費はいくらか、市の財源で賄わないで済むように。

答弁 ① 安全であると

は言いきれない。事故の責任は所有者にある。② 県に早く結論を出すよう要請中。③ 今後更に交渉を継続。④ 解体・撤去費は七〜八千万円かかる見込み。市の財源で賄う事がないように、県に復興基金による支援を要請している。

住民基本台帳ネットワークについて

佐藤 隆一 議員

質問 住民基本台帳ネットワー

クの本格稼動から六年、自治体が自らの判断で参加し、行政事務の効率化（公共の利益）を実現するという建前で運用されている。しかし、利用の九十九・

五％は年金事務関係で、住基カード普及率も全国で二・四％にすぎない。市にとっても経費削減効果は限られ、税金の無駄づかいにすぎなくなるのではないか。

① 住基ネット構築に要した経費と年間維持費はいくらか。

② 住基カード発行数の推移は。

③ 住基カードのメリットと実際の利用状況はどの程度か。

④ 制度の評価をどう考えるか。

答弁 ① 平成十四年一月から平成二十年度末まで三千五百七十一万円で、この他にカード購入

費として七十二万三千四百五十円を支出している。維持費は年間約四百万円です。

②平成十五年二十七枚、十六年二十四枚、十七年二十九枚、十八年四十七枚、十九年百四十一枚、二十年二百六十一枚で累計五百二十九枚です。

③運転免許証代わりの利用、インターネットによる電子申告に利用されているが実数は不明。
④住民票の広域交付や年金現況届の省略など利用は限られ、費用対効果は高くないが今後の有効活用に期待したい。

質問 ①システム稼動から六年経過し、設備材器・システム更新必要だが終了しているのか。
②なぜ住基カードの発行・利用が進まないのか、その原因は。
答弁 ①平成二十年一月に終了しています。②住基ネットの利用価値はある。基本方向は間違っ



(総務省H.Pより)

ていないので、制度を前提として、どう活用するか考えるべきではないか。

◎健康診査等の取り組みと効果について
◎魚沼地域胃集団検診協議会について

山賀 一雄 議員

質問 平成二十年度から医療制度改正により、中高年の健康診査は特定健康診査となった。①受診者の動向はどうか。減少しているならば、その要因は。②健診未受診者の把握・啓発方法は。③特定保健指導対象者数の動向は。④国保以外の方の健診結果データの入手は。⑤この制度による効果と特定健康診査をどう評価するか。
また、胃がん検診等について、受診者が減少しているが、⑥被用者保健での受診状況は。⑦受診率が低下の原因とその対策はどうか。

答弁 ①受診者数は減少しているが、国民健康保険加入受診者は、ほぼ横這いとなっている。制度改正により、事業者への周知不足、事業者の認識不足も要因と考える。②住民意向調査を実施して受診勧奨を行っている。③健診結果により優先順位をつ

けて指導を実施している。受診者が増えれば対象者も増える。④個人情報であるため健診結果は受領できない。⑤制度が定着されていない状況であるので効果は現れにくい。⑥全世界帯に住民検診調査を実施し、意向状況を把握している。⑦制度移行等による受診手続きの複雑化が原因と考えられる。住民への啓発は、未受診者の再実施通知、検診日程の広報紙掲載等で受診勧奨を行っている。



議会 日誌

7月～9月

1日	大分県国東市議会行政視察に来市	29日	水明会行政視察に出発(京都府亀岡市)
3日	柏崎港整備・利用促進協議会通常総会(柏崎市)	5日	社会土木委員協議会
7日	宮崎県都市議会行政視察に来市	12日	産業経済委員会と商工会議所との懇談会
8日	議会報編集委員会	18日	千葉県香取市議会行政視察に来市
10日	岩手県久慈市議会行政視察に来市	20日	埼玉県越谷市議行政視察に来市
14日	新風クラブ・政友クラブ行政視察に出発(石川県加賀市)	21日	中越地区市議会合同議員研修会(見附市)
16日	議員協議会	25日	議会運営委員会
1日	山形県西村山地方議長協議会行政視察に来市	27日	県市議会議長会秋季定期総会(村上市)
1日	第三回定例会(本会議)		
2日	三常任委員会連合審査会		

市議会開催予定

《第四回定例会》

- 11月30日(月) 第1日 議案上程説明
 12月15日(火) 第2日 一般質問
 12月16日(水) 予備日 一般質問 (質問者が多い場合に開催)
 12月18日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。委員会の日程、議会傍聴については議会事務局 (TEL83-3505) へお問い合わせください。

- 3日 三常任委員会連合審査会
 4日 総務文教委員会
 7日 社会土木委員会
 8日 産業経済委員会
 16日 議会運営委員会
 17日 本会議 (第二日)
 ” 本会議 (第三日)
 ” 議会報編集委員会
 24日 議会運営委員会
 ” 本会議 (第四日)
 26日 トキめき新潟国体開会式
 (新潟市)

「小千谷縮・上越上布」が日本の染織り技術第一号として選定されたことは大変名誉なことであり、先人たちが残してくれた財産の積み重ねの結果であると思っております。

世界無形文化遺産の力を得て、我が産地も活気づくことと期待しております。同時に市民の皆様方から、小千谷縮を誇りに思っ

「小千谷縮・越後上布」がユネスコ無形文化遺産に登録される運びとなりました。ユネスコ無形文化遺産は、二〇〇三年ユネスコ総会において「無形文化遺産の保護に関する条約」が採択され、二〇〇六年に発効、現在九十七カ国が締約しております。この条約は、口承による伝統及び表現、芸能、社会的慣習・儀式・祭礼行事、伝統工芸技術等、無形の文化財を保護するものです。



小千谷織物同業協同組合
 理事長 松井 均
 (表三之町)



37

ていただけるよう、このチャンスを活かして、伝統技術や歴史背景を継承することはもちろんのことですが、常に革新を起しながら、伝統産業そのものを時代に合致させる努力を行っていきたく思います。



編集後記

小千谷市総合体育館を会場とした「新潟国体」成年男女六人制バレーボールも盛会のうちに終わりました。

大型の台風十八号の被害も小千谷には無く、日ごとに秋が深まってきました。

あの中越大地震から五年が経ちました。この五年間は市民の皆様にとつて長かったでしょうか。それとも短かったでしょうか。お一人お一人によって異なると思われれます。この二十三日には午前十時より長岡の「ハイブ長岡」で新潟県知事をはじめ、七市町の関係者が集まって新潟県中越大地震五周年合同追悼式が行われます。小千谷市でも追悼の集いが午後五時三十分より総合体育館コミュニティプラザで行われます。

寒い冬が近づいてきました。今冬の雪の量ほどの程度になるのでしょうか。それと、例年インフルエンザが流行する季節にもなります。今年は新型インフルエンザが季節に関係なく発症しております。罹らないようにうがい、手洗、顔洗いの予防をしっかりと行いましょう。